

選挙豆知識



投票所 一番乗りの特典!?

投票所に一番乗りをすると、投票箱の中を覗くことができます。これは、中身が空であることを確認して、不正がないことを明らかにするためです。



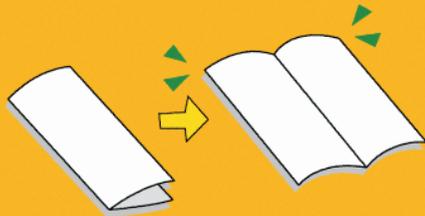
得票数が同じ!?

開票の結果、最多得票者が2人いる場合は、くじ引きで当選者を決めるという規定があります。選挙の一票がいかに重要かわかります。



投票用紙は ただの紙じゃない!?

投票用紙に使われている紙は、破れにくく、水に強い特殊な紙です。さらに、折っても自動で開きます。これは、開票作業の時、集計しやすくするためです。



問い合わせ

品川区選挙管理委員会事務局
☎ 03-5742-6845 (直通)
品川区選挙管理委員会公式ホームページ



18歳からの 選挙権

選挙デビュー
おめでとうございます

Let's Vote!!



選挙のめいすいくん

明るい選挙のイメージキャラクター。明るい選挙推進運動の「明」と「推」を取って「めいすいくん」と名付けられました。投票箱がモチーフで、尻尾には鍵、背中には「明るい選挙」の実現に向かうための羽根がついています。

新有権者の皆さまへ

選挙権の取得、おめでとうございます！投票に行く、それは“オトナ”になることを社会が認めた証です。将来を担う若い世代の声を、政治に活かすchanceです！投票に行くその前に、明るい選挙のイメージキャラクターの『選挙のめいすいくん』と一緒に選挙について考え、大切な1票を、自分たちの声を、政治に届けましょう。

18歳から投票ができます

平成27年6月に公職選挙法が改正され、選挙権年齢が『18歳以上』に引き下げられました。18歳からでは、早過ぎるのではという感想もありますが、世界の9割の国や地域が18歳までに選挙権を認めています。オーストリアとブラジルなど、16歳で選挙権を認めている国すらあります。

皆さんは選挙をとおして、社会に"オトナ"として意見を言うことができるようになります。大人の第一歩として、ぜひ投票に行きましょう!

様々な国の選挙権年齢 ※2015年現在

選挙権年齢 国

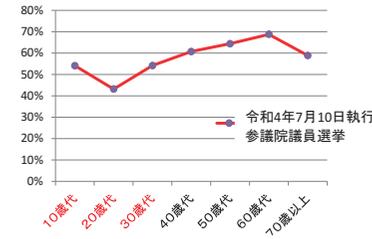
16歳	オーストリア・ブラジル 等
18歳	アメリカ・イギリス・イタリア・オーストラリア・カナダ・ドイツ・フランス・ロシア 等
19歳	韓国
20歳	台湾・カメルーン 等



若年層の投票率が低い!?

若い世代(10~30歳代)の投票率は、40歳代以上の投票率に比べて低くなっています。これからの社会は皆さんでつくっていくものです。選挙に行かなければ自分たちの意思が反映されない社会になってしまいます。

「めんどくさい」「関心がない」「自分が投票しても変わらない」などの意見があるけれど政治は一人ひとりの投票の積み重ねで決まります。なので投票に参加することはとても大きな意味があります。ぜひ、投票に行き、若い世代の声を政治に届けましょう!!



選挙に行く前に!

選挙は自分の意思を政治に反映させる大切な制度です。投票に行く前に、選挙の基本原則を覚えておきましょう。その上で、候補者の情報を集め、投票先を決め、投票に行くことが大切です。

普通選挙

納税額や性別などにより選挙権に差別を設けることなく、一定の年齢(満18歳)に達すると、全ての国民に選挙権が与えられます。

秘密投票

誰が誰に投票したか分からない方法で選挙が執行されます。

平等選挙

性別や社会的身分などで差別されることなく、平等に一人一票の選挙権が付与されます。

直接選挙

一般の選挙人が自分たちの代表者を直接選ぶ選挙を直接選挙といいます。



投票日に行けない時は?

選挙人名簿に登録されている方には、投票所入場整理券をお送りします。投票日には、投票所入場整理券をお持ちの上、指定された投票所で投票してください。

もしも投票日に、仕事や旅行などで投票所へ行けない場合は、期日前投票をご利用ください。

大切な1票、出かける前に忘れずに投票しましょう!



期日前投票

- 【場所】** 区役所、地域センター等
- 【期間】** 公示(告示)日の翌日から投票日の前日まで
- 【方法】** 郵送される『投票所入場整理券』をお持ちください

